



いってみればコペンの 体内洗浄ってとこだ上

ただでと、ご心配なく。

コンプレッション良好 施行後はどうなる!?

リーガMAXマフラーから怪しい白煙がモクモク!? まるでターボがいつっちゃったときのような症状

前号の予告どおり、パワーアッププログラムを受けるために横浜のニューテックジャパンまで足を運んできた。左の写真は使用過程でエンジン内部に堆積したカーボンやらスラッジやらを、取り除い

ている最中ってわけ。スモークの一部は人間に置き換えれば、消化し切れないまま体内に溜まっていた残物や毒素ってとこかなあ。順序立てて話をしよう。施行前に念のため、エンジンの様子を探ってみた。コンプレッションと呼

ばれる数値から状態が読み取れ、カーメーカーの基準値を割って、れば不具合を抱えていると判断できるんだ。例えばヒストンリングとシリンダーのクリアランスが、パーツ個々の磨耗により異常に大きくなっていると、とかね。そうなると、パワーアッププログラムによるコンデション回復は難しい。エンジンをばらし、オーバーホールに臨むほかない。コペンに載るJB・DETエンジンのコンプレッションは良好状態の標準が11で、4つの気筒の数値にはらつきがなく、整っていればいるほど、エンジンは健康なのだ。

びんびん。施行後はコンプレッション回復剤NC-202の威力でさらに高まっちゃうぞうだから、一体どうなるんだろうか。さぼり気味のエンジンオイルとATFの交換を含め、作業の様様と結果は次号で。じゃあまた!



▶カーボンクリーニング剤のNC-900RCRは施工に技術を要するため、パワーアッププログラムを取り扱うプロショップのみに供給される。一般には流通していない

▶ファーストステップのNC-220は事前にガソリンタンクへ注入し、ある程度距離を走っておくと堆積した汚れが落ちやすいという。コペンはガソリン満タンに1本の割合だ



▲パワーアッププログラムは4ステップで構成される。右から施工順にフェューエルラインやインジェクターの洗浄を受け持つNC-220スラッジリムーバー&フェューエルブースト(3573円)、スロットル周辺やO2センサーなどのカーボン、スラッジを取り除くNC-120インジェクションクリーナー(オープン価格)、燃焼室やバルブ等に付着したカーボン類を除くNC-900リ・パワーカーボンリムーバー(6300円)、最後に圧縮圧力回復剤のNC-202コンプレッス

パワーアッププログラムの前に エンジンの状態をチェック



◀4気筒すべてのプラグを外し、まずはNo.1シリンダーのプラグホールへコンプレッションゲージを取り付ける。コンプレッションといって、エンジンのシリンダー内部にかかる圧力を見るためだ。これには自動車メーカーの定める基準値があって、数字が大きき下回ってれば混合気の一部が漏れている可能性あり

指示値は悪くない、かな

シリンダー	実測値	基準値
No.1	12.0	11.0
No.2	12.0	11.0
No.3	12.4	11.0
No.4	12.1	11.0

▶二人一組の作業になるけれど、一人がアクセル全開でセルを回し、もう一人がコンプレッションゲージを読み取る。1番から開始して4番シリンダーまで、酷使を続けてきた割には目立った低下はみられない



▶オイルの選択でフィーリングも変わってくる。JB・DETエンジンは4気筒ゆえにクラシククの支持数などが多く、摺動ロスも馬鹿にならないだろう。滑らかな吹上がり期待できる5W-35のZZ-01(1890円/L)を3本おこる



▶変速ショックや滑る感じが現れはじめていたオートマチックのATFも、併せて換えておく。切れ良く回転が上昇、スポーティな走行フィールを売りにするZZ-51のグレードアップ版ZZ-51改(2520円/L)を試す

